



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 安永 上場取引所 東  
 コード番号 7271 URL <https://www.fine-yasunaga.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 岩瀬 一憲 TEL 0595-24-2122  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,707	△14.4	327	△81.4	221	△86.7	△73	—
2019年3月期第3四半期	28,847	11.3	1,762	26.9	1,668	33.7	1,142	16.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △327百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 794百万円 (△22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△6.11	—
2019年3月期第3四半期	95.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,095	11,802	31.0
2019年3月期	36,011	12,286	34.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,801百万円 2019年3月期 12,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
2020年3月期	—	4.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	△8.8	530	△76.0	550	△74.1	100	△91.9	8.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	12,938,639株	2019年3月期	12,938,639株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	975,309株	2019年3月期	975,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,963,330株	2019年3月期3Q	11,963,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(偶発債務)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は全体として高水準を維持しているものの、製造業を中心に弱含みとなっています。また、海外経済の減速に伴う輸出の低迷や消費税率引き上げ後の個人消費落ち込み、さらには新型コロナウイルスの感染拡大の影響などから、景気の先行きは不透明な状況となっています。

当社グループの主要販売先である自動車業界の新車販売台数（2019年1月～12月）は、国内市場では、消費増税の影響もあり、前年同期比で減少しました。また海外市場でも、前年同期比で米国、タイ及び韓国はやや減少、インドネシアでは大幅に減少しました。

このような企業環境下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高247億7百万円（前年同期比14.4%減少）、営業利益3億27百万円（前年同期比81.4%減少）、経常利益2億21百万円（前年同期比86.7%減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益11億42百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (エンジン部品事業)

タイ及びメキシコの子会社における販売が増加したものの日本国内の生産が大きく減少したことにより、売上高は減少となりました。一方、日本国内の生産減少に加え、メキシコの子会社における受注の伸び悩みやインドネシアの子会社における固定費の増加等により、営業利益は悪化しました。その結果、売上高162億38百万円（前年同期比4.9%減少）、営業損失88百万円（前年同期は営業利益5億21百万円）となりました。

#### (機械装置事業)

前年度過去最高となった売上高は受注の一服により大幅に減少しました。その結果、売上高51億88百万円（前年同期比39.5%減少）、営業利益54百万円（前年同期比93.5%減少）となりました。

#### (環境機器事業)

主として海外市場におけるエアーポンプの販売が増加したことに加え、国内市場におけるディスプレイシステムの新規販売及び更新需要が増加しました。その結果、売上高30億44百万円（前年同期比4.8%増加）、営業利益4億32百万円（前年同期比21.6%増加）となりました。

#### (その他の事業)

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高2億35百万円（前年同期比20.0%減少）、営業損失78百万円（前年同期は営業利益34百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ20億84百万円（前連結会計年度末比5.8%）増加し、380億95百万円となりました。

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ11億98百万円（前連結会計年度末比6.1%）増加し、207億28百万円となりました。

この増加の主な要因は、仕掛品の増加7億78百万円、未収消費税等の増加によるその他の増加3億83百万円等によるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億85百万円（前連結会計年度末比5.4%）増加し、173億67百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加8億31百万円、投資有価証券の増加71百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8百万円（前連結会計年度末比0.0%）減少し、178億25百万円となりました。

この減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少8億98百万円、短期リース債務の減少8億91百万円、賞与引当金の減少2億98百万円や短期借入金の増加13億円、1年内返済予定の長期借入金の増加7億54百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ25億76百万円（前連結会計年度末比43.7%）増加し、84億67百万円となりました。

この増加の主な要因は、長期借入金の増加27億22百万円や社債の減少1億10百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億83百万円（前連結会計年度末比3.9%）減少し、118億2百万円となりました。

この減少の主な要因は、為替換算調整勘定の減少2億85百万円、利益剰余金の減少2億29百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年10月31日に公表した数値から変更しております。詳細につきましては、2020年2月14日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,173	5,241
受取手形及び売掛金	5,503	5,585
電子記録債権	733	805
商品及び製品	1,573	1,383
仕掛品	3,913	4,691
原材料及び貯蔵品	1,691	1,816
未収入金	475	354
その他	465	849
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,529	20,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,983	11,985
減価償却累計額	△7,276	△7,416
建物及び構築物（純額）	4,706	4,569
機械装置及び運搬具	27,280	28,909
減価償却累計額	△22,340	△23,522
機械装置及び運搬具（純額）	4,939	5,386
工具、器具及び備品	5,777	5,578
減価償却累計額	△5,381	△5,203
工具、器具及び備品（純額）	396	375
リース資産	2,670	1,136
減価償却累計額	△1,012	△427
リース資産（純額）	1,658	708
使用権資産	—	78
減価償却累計額	—	△46
使用権資産（純額）	—	31
土地	2,251	2,253
建設仮勘定	1,087	2,545
有形固定資産合計	15,039	15,870
無形固定資産		
投資その他の資産	71	118
投資有価証券	584	656
繰延税金資産	66	65
その他	726	660
貸倒引当金	△7	△3
投資その他の資産合計	1,370	1,378
固定資産合計	16,481	17,367
資産合計	36,011	38,095

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,722	3,824
電子記録債務	757	474
短期借入金	4,650	5,950
1年内返済予定の長期借入金	1,988	2,742
1年内償還予定の社債	220	220
未払金	2,517	2,798
リース債務	1,132	240
未払法人税等	355	125
賞与引当金	547	249
工事損失引当金	17	4
設備関係支払手形	9	10
その他	915	1,183
流動負債合計	17,834	17,825
固定負債		
社債	110	—
長期借入金	4,699	7,422
リース債務	464	371
繰延税金負債	115	158
役員退職慰労引当金	57	62
環境対策引当金	0	1
退職給付に係る負債	368	374
資産除去債務	75	75
固定負債合計	5,891	8,467
負債合計	23,725	26,293
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	8,589	8,360
自己株式	△330	△330
株主資本合計	12,516	12,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	243
繰延ヘッジ損益	△56	△115
為替換算調整勘定	△239	△524
退職給付に係る調整累計額	△124	△87
その他の包括利益累計額合計	△230	△484
非支配株主持分	0	0
純資産合計	12,286	11,802
負債純資産合計	36,011	38,095

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	28,847	24,707
売上原価	24,171	21,532
売上総利益	4,676	3,175
販売費及び一般管理費	2,914	2,847
営業利益	1,762	327
営業外収益		
受取利息	19	35
受取配当金	9	9
為替差益	1	—
受取賃貸料	15	15
その他	52	31
営業外収益合計	98	91
営業外費用		
支払利息	115	96
為替差損	—	62
減価償却費	1	6
操業準備費用	55	—
その他	19	33
営業外費用合計	192	198
経常利益	1,668	221
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	3	0
固定資産除却損	6	60
リース解約損	0	—
特別損失合計	11	61
税金等調整前四半期純利益	1,659	161
法人税、住民税及び事業税	398	207
法人税等調整額	118	27
法人税等合計	516	234
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,142	△73
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,142	△73



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,142	△73
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148	53
繰延ヘッジ損益	5	△58
為替換算調整勘定	△216	△285
退職給付に係る調整額	12	36
その他の包括利益合計	△347	△254
四半期包括利益	794	△327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	△327
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて貸借対照表に使用権資産及びリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却とリース債務に係る支払利息を計上しております。

これによる当第3四半期連結会計期間末日の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,072	8,575	2,904	28,553	294	28,847	—	28,847
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	45	—	45	397	442	△442	—
計	17,072	8,620	2,904	28,598	691	29,289	△442	28,847
セグメント利益	521	839	355	1,715	34	1,750	11	1,762

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,238	5,188	3,044	24,472	235	24,707	—	24,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	450	—	450	383	834	△834	—
計	16,238	5,639	3,044	24,923	618	25,542	△834	24,707
セグメント利益又は損失(△)	△88	54	432	398	△78	319	8	327

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(偶発債務)

当社は、製品の一部に発生している品質上の不具合について特定顧客と補償又は費用負担について協議をいたしております。これに伴い支出が見込まれますが、現時点では不確定要素が多く金額を合理的に見積ることが困難であるため、これに係る引当金については計上しておりません。